

# 2020年度 一般社団法人 大曲青年会議所

## 基本方針

会員資質向上委員会 担当

副理事長 本間 啓之

昨今のJCは、会員の減少が著しく平均在籍年数も4年を切り、新たな会員を迎えなくては存続することが難しくなってくる一方で、20歳から40歳の年齢制限があることで職務が入れ替わる流動性から、望みさえすれば貴重な経験と知識を得られます。入会の浅い会員が多い近年、先輩諸賢が紡いできた軌跡を糧に、大仙郷のニーズに合わせて持続可能で強靱な組織への変革と、地域を牽引するリーダーとして進化を遂げる必要があります。

まずは、JAYCEEとしての自覚を持つために、我々の足跡を学び現状と未来を考察することで、会員一人ひとりが組織の牽引者となり、率先して運動、活動を実施します。そして、組織の成長と事業活動発展のために、各種大会への参加を推進し、学ぶ機会を創出することで、会員の成長が促進され組織力が向上します。さらに、地域からより信頼される強い組織となるために、地域との連携も密にした秋田ブロック大会を主管し、各LOMと強固な連携を築き、会員の結束と絆を強くするとともに、大仙郷の発展へと繋がります。また、同じ志を持って活動している仲間と新たな繋がりを構築するために、お互いの特徴や性格を分かり合い共に成長できる関係性を築く機会を創出し、組織の活性化を図ります。そして、地域社会に不可欠な組織体であり続けるために、会員の資質向上と新たな会員を獲得する事業を展開し、地域のリーダーとして自らが率先して行動できる人財へと変革します。さらに、会員と地域、家庭との接点を築くために、ニーズを捉え信頼関係を構築することができる交流事業を展開し、地域に必要とされる組織体である意義を見出します。

大曲青年会議所の輝かしい功績と伝統、先輩諸賢の想いを引き継いだ我々は、現代社会に即した組織運営を構築し、会員の資質が向上して企業や大仙郷を牽引するリーダーとなり、率先し行動し続ける人財と成長を遂げ大仙郷に必要不可欠で強靱な組織と進化します。